

令和4年度第12回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和5年2月5日（火）13：30～14：30 教授会室

出席者： 廣川理事長、宮川副理事長、山根理事、安原理事、高橋理事
井手環境科学研究院長、南川先端工学研究院長、棚瀬人間文化学研究院長、
伊丹人間看護学研究院長、村上環境科学部長、徳満工学部長、
京楽人間文化学部長、糸島人間看護学部長、八里事務局次長、遠山委員、
森委員、矢吹委員

事務局： 山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、
郡田教務課長、前田課長補佐、藤居主幹

令和4年度第11回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、承認された。

議 題

審議事項

1 令和5年度計画（素案）について

寺村経営企画課長から資料に基づき説明があった。学内にも意見を照会中であるが、委員から意見があれば事務局あて提出することとし、次回教育研究評議会で計画案を継続して審議することとされた。

報告事項

1 学内委員会規程等における理事に係る規定の整備について

山田総務課長から資料に基づき報告があった。

2 令和4年度学位記授与式について

川分学生・就職支援課長から資料に基づき報告があった。

3 令和5年度入学式の実施について

山田総務課長から資料に基づき報告があった。

4 各委員会等の結果の概要について

(1) 令和4年度第3回コンプライアンス委員会

(2) 令和4年度第10回衛生委員会

[主な意見・質疑等]

- ・先日の大雪の際、帰宅できず学内に留まった教職員や学生がいたが、暖房や毛布の提供などの措置が必要ではないか。
→大雪だけではなく事故等も含め、今後どのような対応ができるか検討中である。
- ・ストレスチェック結果について、学部長等にはどのような活用を期待しているのか。
→学部等の全体の結果推移等を確認する中で傾向が悪くなったとき等では、職場で何かが起こっていることが想定されることから、そのような状況を見逃さず、働き方などを見直す契機にしてほしい。

(3) 令和4年度第2回学生支援委員会

[主な意見・質疑等]

- ・休学期間満了後は自動的に復学扱いとすることについて、疾病のため休学している学生の復学には医師の診断書が必要と従来されていたが、今後は不要なのか。

→疾病のため休学している学生の復学に医師の診断書が必要という規定は学則に定めている。学則を変更するものではないため今後も必要である。

先生方に混乱が生じないように周知させていただく。

(4) 令和4年度第6回入学試験委員会

(5) 令和4年度第7回国際交流委員会

5 令和5年度会議開催予定について

山田総務課長から資料に基づき報告があった。